

令和 7 年度 国内需要安定化事業
エシカルトラベルプロモーション業務
仕様書



1. 事業背景及び目的

一般財団法人沖縄観光コンベンションビューロー（以下「OCVB」という）では、沖縄県が策定した観光振興施策に基づいた誘客プロモーション事業を展開しており、国内における本県への安定的な誘客と観光による経済波及効果の向上を図るため、沖縄路線就航地域においてプロモーションを実施している。

第6次沖縄県観光振興基本計画では「世界から選ばれる持続可能な観光地」として、サステナブルツーリズムの推進が示されている。本事業では、沖縄に来訪されるすべての観光客及び県内観光事業者と共に、持続可能な観光地であり続けるための取り組みを啓発するプロモーション『エシカルトラベル』を訴求しサステナブルツーリズムの推進へとつなげていくことを目的とする。

2. 業務概要

本業務では、サステナブルツーリズムの推進を目的とし、エシカルトラベルの考え方にに基づき、沖縄観光情報WEBサイト「おきなわ物語」内にある既存特集ページの改修、コンテンツ制作とともに、SDGsやサステナブルツーリズムを訴求できるリアルイベントへの出展、エシカルトラベルオキナワ公式Instagramの新規開設、運用を中心とするメディアを活用した情報発信を行う。

3. 委託業務の内容

- (1) 沖縄観光情報ポータルサイト「おきなわ物語」内「エシカルトラベルオキナワ」ページの改修
- (2) SDGs・サステナブルツーリズム・エシカルトラベルを発信できるリアルイベントへの出展
- (3) プレスツアーの実施
- (4) 効果的な媒体を活用した情報発信
- (5) エシカルトラベルオキナワ公式Instagramの新規開設、運用
- (6) プロモーション効果の測定
- (7) 業務完了報告書の作成
- (8) 精算関係書類の提出
- (9) 企画実施体制の構築
- (10) その他、業務実施にあたりOCVBと協議の上、業務遂行に必要とされる業務

4. 企画提案内容

【前提】

沖縄県は県民の日常生活の場でありながら、国内有数の観光地である。「世界から選ばれる持続可能な観光地」を目指すため、本県に来沖されるすべての観光客と県内

観光事業者に対しエシカルトラベルの考え方に基づいた行動（アクション）を一つでも多く実践してもらえるよう、工夫した（わかりやすく伝わる）提案をすること。

企画提案にあたっては、以下の事項について留意すること

- ・紹介するコンテンツは、事業背景及び目的に関連するものとし、旅行者が取り入れやすい内容とすること。
- ・県内観光事業者とエシカルトラベルが連携できる仕組みを提案すること。
- ・プロモーション実施エリアは全国を中心に展開すること。ただし、事業効果を高めるためにエリアを絞った提案も可とする。（その場合は選定の根拠を明示すること）
- ・情報発信にとどまらず、沖縄への誘客促進につながる仕組みを提案すること。また、紹介する情報は偏らないよう公平公正に掲載すること。
- ・本事業で製作するすべての広告宣伝物には、原則として下記クレジット及びロゴを掲出すること。（ロゴデータは OCVB より提供）ただし、掲出しないことが表示・取扱上適当な場合は個別協議により対応を決定する。

・「Be. Okinawa」の詳細は <https://beokinawa.jp/jp/>参照

クレジット：「沖縄県・（一財）沖縄観光コンベンションビューロー」

※スペースの制限がある場合は「沖縄県・OCVB」でも可。

ロゴ：ロゴデータは適宜提供

沖縄観光ブランド「Be. Okinawa」



エシカルトラベルオキナワ



・委託費における予算配分の目安は以下の通りとする（委託費 2000 万円）

コンテンツ制作費	広報展開費	効果検証費
25%	70%	5%

(1) 沖縄観光情報ポータルサイト「おきなわ物語」内「エシカルトラベルオキナワ」ページの改修及びコンテンツ追加

【既存特集ページ】「エシカルトラベルオキナワ」

https://www.okinawastory.jp/feature/ethical_travel/

ア. 「エシカルトラベルオキナワ」ページの改修について

① エシカルトラベルオキナワ特集記事の新規作成について

https://www.okinawastory.jp/feature/ethical_travel/

- ・SDGs や持続可能な取り組みをしている県内事業者の記事を新たに 10~20 本程度作成すること。一記事一施設（取り組み）の内容とし、記事の作成にあたっては、「エシカルトラベルコンテンツの考え方」に基づきヒアリングを行い、市町村、地域などの紹介と誘客に繋がる記事を作成すること。・新規特集記事のボリューム感や内容は、既存記事（下記 URL 参考）に合わせること。

https://www.okinawastory.jp/feature/ethical_travel/mado

② エシカルトラベルオキナワ事業者向けページの改修・コンテンツ追加

https://www.okinawastory.jp/feature/ethical_travel/business/

- ・事業者向けコラムを 4 件程度新規作成すること。ただし、エシカルトラベルオキナワで取材した事業者を対象とする。
- ・コラム作成時は、『エシカルトラベルコンテンツの考え方』に則った内容とすること。参照ページ：エシカルトラベルコンテンツの考え方

https://www.okinawastory.jp/feature/ethical_travel/business/・事業者向けコラムのボリューム感や内容は、既存コラム（下記 URL 参考）に合わせること。

参照ページ：https://www.okinawastory.jp/feature/ethical_travel/yumejin

- ・「沖縄 エシカル」「沖縄 サステナブル」「沖縄 SDGs」など関連する検索キーワードを元に、特集ページへの流入を獲得する仕組みを作ること。
- ・おきなわ物語の回遊率向上に繋がる導線設計とすること。

イ. 「エシカルトラベルオキナワ」のページ編集作業について

- ・コーディングの際は、おきなわ物語コーディング規約に則り、SNS 等での拡散を想定した OGP 設定等も行うこと。
- ・受託事業者は、写真素材、原稿、デザイン（※1）を作成・準備し、コーディング、CMS へのアップ、サーバーアップ（FTP）、テナントページの作成（※2）まで行うこと。

（※1）レスポンスデザイン

ブレイクポイントは、基本はスマートフォン、タブレット、PC で設けるが、デザインによっては別途調整すること。

（※2）CMS より定型の項目を入力し、おきなわ物語の「スポット・サービス」「グルメ」「宿泊情報」「アクセス」のメニュー配下に設置されるテナントページ（施設詳細情報ページ）を作成すること。

参照ページ：<https://www.okinawastory.jp/gourmet/600015727>

- ・既存のテナントページについては変更や修正点がないか店舗に確認し、変更・修正がある場合は写真の追加や差し替えを行うこと。

- ・テナントページに挿入する写真は各施設の「外観」「内観」「提供サービス（料理・体験）」を含む5枚以上の写真を必ず撮影・登録し記入すること。

(2) SDGs・サステナブルツーリズム・エシカルトラベルを発信できるリアルイベントへの出展

- ・出展するイベントを2件程度提案すること。
- ・出展内容については、規模の大小は問わず、テーマや来場者との親和性の高さを重視すること。
例：他の旅行博に比べイベント規模(来場者数)は少ないが、SDGsやサステナブルツーリズム、エシカルトラベルに興味・関心がある来場者が見込めるイベントへの出展など。
- ・実施エリアは大都市圏（関東、東海、関西、福岡）を中心とすること。ただし、事業効果を高めるためにその他エリアを選定しての提案も可とする。（その場合はエリア選定の根拠を明示すること）
- ・イベント出展に伴い、SDGsやサステナブルツーリズムまたはエシカルトラベルに関心のあるメディア関連機関等へ可能な限り接触し、取材コミュニケーションを取ること。
- ・会場レイアウト及び設営・管理・運営・撤去を行うこと。
- ・イベントで使用する装飾物等については、可能な限り環境に配慮しており、繰り返し使用できる備品を使用すること。
- ・パンフレット、ポスター、その他備品についてはOCVBからも提供可とする。
- ・ブース内でエシカルトラベルを普及啓発できる、実施可能な参加型コンテンツを企画すること。講師等が必要になる場合、その手配も行うこと。
- ・ブース展開の内容によっては資料の投影や動画の放映を想定したモニターやスクリーンの設置を提案すること。
- ・催事中は委託事業全体を統括する担当者1名以上を配置すること。
- ・出展後は、出展報告書を提出すること。（内容については契約締結後に協議とする）

(3) プレスツアーの実施

- ・エシカルトラベルを効果的に発信するためのプレスツアーを提案すること。
- ・提案する媒体は、可能な限り全国規模で放送・発行・発刊しているメディアを選定すること。
- ・提案時には、各メディア等の仮承諾（実施の実現性の承諾）を得ること。
- ・受託後、提案時のメディア以外の候補媒体があれば、OCVBとの協議・承認を得た場合において、追加誘致（メディアキャラバンも含む）も可とする。
- ・提案時または追加誘致するプレスツアーの実施、露出フォロー、各メディアからの

フィードバックの収集等について、OCVB との協議後、その指示に基づき受託事業者が行うこと。

- ・プレスツアーの実施回数については複数回も可とする。

(4) 効果的な媒体を活用した情報発信

- ・エシカルトラベルの需要に応じた費用対効果の高い媒体の選定と多角的な情報発信を根拠と共に明示すること。
- ・ウェブ広告、SNS 広告等を活用した効果的な情報の発信及び拡散方法を提案すること。
- ・企画、放送が予定されているテレビ番組等と連動させることで訴求効果を向上させるコンテンツや企画提案も可とする。

(5) エシカルトラベルオキナワ公式 Instagram の新規開設、運用

- ・「エシカルトラベルオキナワ」ページ内特集記事より、興味関心を惹くようなコンセプトや構成を提案すること。
エシカルトラベルオキナワに関する情報を発信する Instagram のアカウントの新規開設及び運用管理を行うこと。
- ・制作する記事の数量は毎月 2 本程度とする。
- ・ユーザーを確保するために、想定しているターゲット（主に観光客）に対して Instagram アカウント開設を広く周知し、新規登録を促す方法を OCVB と協議し実施すること。

(6) プロモーション効果の測定

- ・プロモーションの事業効果を把握するため、上記（1）～（5）についてそれぞれ具体的な効果測定手法を提案し、効果測定を行うこと。
- ・広告の閲覧状況やランディングページへの誘導状況など当該業務により想定する報告内容について、報告可能な数値項目等を踏まえて記載すること。
- ・本事業で波及された広告換算金額を提示すること。
- ・おきなわ物語の Google Analytics 等のデータをもとに本事業の効果検証及び分析を行うこと。※Google Analytics のアクセス権限を付与する。

(7) 業務完了報告書の作成

- ・実施したプロモーションの内容やその事業効果とともに、業務全体を分析し課題について取りまとめ、報告書を作成すること。
- ・次年度に向けた提案をすること。
- ・本事業の効果測定として、実際に来沖観光客の行動変容に変化があったか確認する

ことが必要である。よって、今後本プロモーションを経て【観光客の行動喚起】に繋がったことが証明（測定）できる手法を提案すること。

※今年度の【観光客の行動喚起】測定は必須としないが、今後の測定方法の提案を行う。

例：実際に来沖中の観光客に対し、サステナブルツーリズム（エシカルトラベル）について複数年に渡りアンケートを実施し、比較分析することで、観光客の意識変容を確認する。等

- ・概要版（A4 サイズ 1～2 枚程度）も併せて作成すること。

(8) 精算関係書類の提出

- ・業務にかかった費用内訳及びその支払を証明する証憑書類（見積書、納品書、請求書、領収書、支払証明書、自社人件費の稼働一覧・勤務表・日報等根拠資料）を提出すること。

(9) 企画実施体制の構築

- ・委託業務全体を統括する担当者 1 名かつ業務調整担当者 2 名以上を配置すること。
- ・外部発注を行う際は発注先が県内事業者か県外事業者か、業務内容とあわせて明記すること。

(10) その他、業務実施にあたり OCVB と協議の上、業務遂行に必要とされる業務。

5. 成果物等一覧

受託事業者が提出すべき成果物等は「表 1」の通りとする。

表 1 成果物等一覧

項目	内容
コンテンツデータ	作成した広告、記事、Web サイト等の電子データ (Photoshop、illustrator 等のデザインデータ含む)
放映確認書	実施した場合の放映確認書
素材データ	本業務で撮影・使用した映像、画像等の素材 (映像素材は、PC にて再生できる DVD ディスク及びデータを納品) ※動画素材は本事業終了後、OCVB にて加工編集が可能な素材も提出することとする。
紙媒体	掲出した紙媒体 (各 3 点)
業務完了報告書	本業務の効果を検証した報告書原本 (3 部) 及びデータ (PDF とパワーポイント)

業務完了報告概要書	業務完了報告書を A4 版 1～2 枚程度にまとめた概要書原本及びデータ（PDF とパワーポイント）
その他	業務実施にあたって制作した成果物（各 3 点） ※当該成果物の中間生成物含む

6. スケジュール

受託事業者は下記のスケジュールで業務を実施すること。

- ・事業実施期間：令和 8 年 2 月 13 日(金)まで。
- ・成果物及び業務完了報告書の提出：令和 8 年 2 月 27 日（金）まで。

7. 契約不適合責任

受託者は、納品後から 1 年間は瑕疵や不具合について無償で修正し、またはこれを取り換える責任を負うこと。

8. 著作権・特許等

- (1) 受託事業者は、本業務で作成された成果物に関し、全ての著作権（著作権法第 27 条及び 28 条に定める権利を含む財産権）を、OCVB に無償で譲渡するものとする。ただし、委託前から受託事業者の構成者が権利を有する著作物及び第三者が権利を有する著作物を利用する場合は事前に OCVB の承諾を得るものとする。
- (2) 受託事業者は、OCVB の同意を得なければ、著作権法第 18 条から第 20 条までに規定されている権利を行使することができない。
- (3) 成果物で使用する文章、写真、図版などは全て沖縄県及び OCVB 内での利用若しくは沖縄県又は OCVB が観光振興に資すると判断した上で第三者への提供が可能なもののみを使用するものとする。
- (4) 本業務にて作成する印刷物等に使用する、OCVB が著作権を得ることができない図版及び写真については、二次使用が可能なこととする。（写真データについては電子納品をし、沖縄観光情報 Web サイト「おきなわ物語」への掲載及び OCVB が認める他の媒体での使用が可能であること）
- (5) 成果物の使用期限は設けないものとする。
- (6) 成果物に係る著作権、特許権その他の知的財産権に関する一切の紛争については、訴訟費用を含め全て受託事業者において責任を負うものとする。
- (7) 著作権法上、上記条件を満たさないデータの使用は禁ずる。
- (8) 上記条件を満たすのに費用が過大となり、十分な広報展開が出来ないことが見込まれる場合においては、協議するものとする。

9. 注意事項

- (1) 提案企画の中で OCVB が行なう業務がある場合は、企画書に明確に記載すること。
- (2) 提案内容は、公的機関が行うプロモーションとして適切なものとする。
- (3) 契約候補者として選定された場合においても、提案のあった企画の内容を全て実施することを保証するものではない。
- (4) 本業務にて使用する図版及び写真は、原則として受託事業者が用意すること。
- (5) 掲載内容の情報については、受託事業者が責任を持って文字校正（情報内容の確認）を行い、必要に応じて OCVB も校正を行う。
- (6) 本仕様書に記載の業務内容は、企画提案のために設定したものであり、実際の契約の仕様書とは異なる場合がある。
- (7) 本仕様書記載の業務内容については、実施段階において、予算や諸事情によって変更することがある。

以上